



事務員 湯田 えり奈

MBC学園や「みんカル」でもガラスフュージング教室を持つ西純子代表を紹介します。

注目してほしいのは、西代表の教室では、イタリアのムラーノ島で作られている伝統工芸品「ベネチアンガラス（ヴェネツィアン・グラス）」を使用しているということ。その魅力は、鮮やかな彩色と奥深い透明感、そしてなんとと言っても、小さなガラスの粒の中で様々な模様を織りなすミルフィオリ（Millefiori＝千の花）にあります（画像参照）。

教室では、そのベネチアンガラスを素材に、一般家庭でも扱いやすい小さな電気炉で作ることのできる「ガラスフュージング」による、様々なアクセサリや生活雑貨を制作しています（フュージングとは「融合する」という意味で、ガラスとガラスの表面だけが溶けた状態で溶着することを表します）。生徒さんは教室で色鮮やかなガラスやミルフィオリ（千の花）を自分の好みに合わせてレイアウトを楽しみます。実際の焼きつけは、時間の都合上、ガラスインストラクターである西代表がされますが、火を使う必要がないため、子どもからお年寄りまで安全にガラスを楽しむことが可能です。

出張教室もご要望に応じているとのこと。職場観光施設、子供会、老人ホーム、障害児施設などからお声が掛かることが多いようです。フォトフレームやブローチ、小皿、箸置き、髪留め、ペンダント、そしてナイトランプなども制作でき、材料費が1回 500～1,500円とお得です。また、西代表が所属している「カトリアガラスクラフト研究会」認定の資格者は九州では西代表が唯一とのこと。女性スタッフの多い職場での活用なども考えて見られたらいかがでしょうか？



金太郎飴のように模様が入っているミルフィオリ。様々な種類があり、眺めているだけでワクワクします。



体験教室で制作できるものの一例。左は箸置き、右は小皿。

体験教室は、花ガラスを通した“うれしい楽しいコミュニケーション作り”！



DATA

合同会社マザーシップ

鹿児島市東坂元1丁目9-14

TEL 099-298-9246

WEB <http://glass-mothership.com/>